

# 雨乞岳

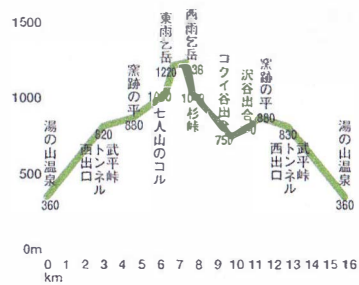
コース難易度 体★★★技★★★☆危★★★☆  
登山時期 3月中～11月下旬

湯の山温泉駅・湯の山温泉 武平峠 雨乞岳 杉峠 湯の山温泉 湯の山温泉駅

9時間00分  
健脚向  
歩行

雨乞岳は西と東の双耳峰からなる鈴鹿山脈第2の高峰である。山頂に雨乞の神事に使われた池を擁する、雄大な山容を持っている。山頂一帯はササに覆われ、冬は雪が深く容易に人を寄せ付けない。

25万図  
御在所山



## コースアドバイス

雨乞岳はどのコースをとってもアップローチが長く、登山道も複雑なので時間に余裕を持って出かけた。武平峠までマイカーで登れば余裕が出来る。沢谷乗越を越し、小沢が複雑に入り組んでいる窪跡の平の近辺は、地形図で確認しよう。クラ谷に入れば雑木林の中の谷を外さず詰める。コクイ谷出合から沢谷出合まで、水量はさほど多くないが沢歩きとなる(登山靴でOK)。沢谷出合の標識を見落とさないように直進するとクラ谷に入ってしまう迷いやすい所だ。

雑木林が多く、新緑の頃から紅葉の時期まで楽しめる。コクイ谷にはシヤクナゲが多く花がきれいだ。

## 湯の山温泉駅→雨乞岳

4時間20分→13時間20分

湯の山温泉駅の坂道を登り、表道の導標に従い大石公園の石段を上がって舗装路に出て橋を渡る。しばらく歩くと沢谷乗越を越し、雨乞岳の山頂に着く。

跡の平に出る。道標に従って左の沢を登り、小尾根を乗越してクラ谷側に出る。このあたりは迷いやすく、ガレ場の脇を下る道は崩壊したところもあるので、慎重に行動する。クラ谷に下り、所々小流をかける溪流沿いを右や左へ渡りながら上流へ向かう。右岸の崩れた所を高巻いて沢を渡れば、炭焼窪跡の点在する道となる。伏流になった源流の雑木林を登ると七人山のコル左に取り深いササをかき分けて、掘割状の急登をひと頑張りすれば、広々とした東雨乞岳の頂上に着く。360度の眺望は申し分ない。

三角点のある西雨乞岳へはササの斜面を下り稲方谷への道を左に分けて登り返す。頂上は背丈の高いササと灌木にさえぎられて東雨乞岳ほど眺望はき



御在所岳から望む雨乞岳

沿いの道を登る。スカイラインの脇に出て小沢を渡って直進、東多古知谷を渡ると右に鳥居をくぐり御在所表道が分岐、やがて植林の中の登りを過ぎると、スカイライン横の道となり橋の下をくぐってひと登りすれば武平峠である(スカイラインに出て、トンネルを歩けば時間は短縮する)。

峠を下り右手の植林された山腹に取り付き、ササと雑木に覆われた道を巻く。左から登ると、沢谷乗越を越し、沢谷に沿って広い河原に出る。ここを過ぎて本流を渡渉し右岸に渡る。しばらくは炭焼窪跡の点在する川沿いの平坦な道が続きコクイ谷出合に着く。

## コクイ谷出合→湯の山温泉

3時間15分→13時間40分

コクイ谷右岸の広場に渡ると、右へ谷に沿って踏跡がある。踏跡をたどっていけば水量の少ない川原を右伝いに登る。ほどなく左手に台地となっている石積み

の護岸が現れる。しばらく歩き左から岩を乗越し、右にカーブする



## コースタイム

近鉄湯の山温泉駅(三重交通バス10分)湯の山温泉(1時間45分→1時間20分)武平峠トンネル西出口(50分→40分)窪跡の平(1時間→45分)七人山のコル(30分→20分)東雨乞岳(15分→15分)西雨乞岳(25分→40分)杉峠(1時間→1時間15分)コクイ谷出合(50分→40分)沢谷出合(20分→15分)窪跡の平(45分→1時間)武平峠トンネル西出口(1時間20分→1時間45分)湯の山温泉

## 交通

○電車 上本町駅から近鉄名古屋線特急約1時間55分で近鉄四日市駅。乗換え30分で湯の山温泉駅。毎時3便。近鉄レレホンセンター ☎06・6771・3105  
○バス 近鉄湯の山温泉駅から三重交通バス10分で湯の山温泉。平日毎時2便。土日祝は3便。三重交通四日市営業所 ☎0593・23・0808  
○タクシー 近鉄湯の山温泉駅→武平峠(所要約15分、約3600円) 三交タクシー ☎0593・96・0108  
○マイカー 東名阪自動車道四日市ICを下り、途中から鈴鹿スカイラインへ入り武平峠まで約14km。スカイライン脇に駐車場あり。

## サブコース

前(1時間20分→1時間)根の平峠(1時間55分→1時間35分)杉峠(40分→25分)雨乞岳(2時間20分→2時間45分)武平峠(1時間20分→1時間45分)湯の山温泉

問合せ  
菰野町観光協会  
☎0593・94・0050